

第 68 回 白百合女子大学 児童文化研究センター研究会

小林将輝氏 講演会

矢崎源九郎と児童文学

— 言語学者としての翻訳者 —



ツウィルクメイエル『ゆかいなインゲルちゃん』講談社



ヴァンパ『ジャンニーノのいたずら日記』講談社

日程：2023年7月8日（土）

時間：13時～15時（終了予定）

場所：白百合女子大学

本館地下9012教室



ポール・アザール『本・子ども・大人』紀伊国屋書店

矢崎源九郎は1921年に山梨県に生まれた言語学者であり、北欧文学者、翻訳家でもあった人です。1967年に45歳という若さで亡くなりましたが、その短い生涯で言葉や文学に関する著作を著す一方、北欧文学をはじめとした文学作品、とりわけ児童文学を多く翻訳したことで知られています。本講演では矢崎のこうした大きな業績に注目し、どのような仕事を成し遂げたのかを俯瞰したいと思います。また、言語学者であった矢崎は、作品が書かれた言語から訳す「原語主義」を取りつつ、「美しい日本語」での翻訳を追求しました。矢崎の翻訳を見ながら、その特徴を具体的に見ていきたいと思っています。

◆◆ 小林将輝氏のご紹介 ◆◆

駿河台大学准教授。元白百合女子大学非常勤講師。ご専門はドイツ文学、比較文学、観光学。現在は、グリム兄弟や、ドイツ語で書かれた近、現代の旅行記などを研究されています。

ご著書：『グリム童話の旅—グリム兄弟とめぐるドイツ』小澤昔ばなし研究所、2014年 など

主催：白百合女子大学 児童文化研究センター

〒182-8525 調布市緑ヶ丘 1-25

《お問い合わせは下記へ》

メール: jido-bun@shirayuri.ac.jp

電話: 03-3326-7994



参加ご希望の方は、7月7日（金）12:00までにこちらのお申込みフォームからご予約ください。定員になり次第、締め切らせていただきます。